

バリアフリーマップ作成について

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会、熊谷市、埼玉県が連携し、ラグビーワールドカップに向けたバリアフリーマップを作成するもの。

1 趣旨

(1) オリパラ等経済界協議会について

ア 組織

オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ等の成功に向けたムーブメントを作り、経済界が一体となって未来の子供たちにレガシーを残していこうという目的のもと、経団連やオリパラスポンサーが参画した組織体。

イ 活動内容

政府、自治体、組織委員会等と連携し、①スポーツの推進、②バリアフリー社会にむけて、③日本の魅力発信、④復興・次世代育成の4テーマの活動を実施。

(2) 熊谷での「バリアフリーマップ」作成のための調査について

バリアフリー社会に向けた活動のうち、今年度は、バリアフリーマップ作成のための調査をラグビーワールドカップ開催都市中心に実施することとしており、全国12会場すべての開催都市で実施。

熊谷では、ワールドカップの会場である熊谷スポーツ文化公園で実施。

今後、熊谷駅北口の整備終了後、駅からコミュニティひろばまでのルートを追加調査予定。

2 熊谷における実施状況について

(1) 日時 平成30年11月15日(木) 13:00から17:00

(2) 場所 熊谷スポーツ文化公園(熊谷ラグビー場)

(3) 参加者 オリピック・パラリンピック等経済界協議会構成企業

熊谷市、熊谷市内障がい者団体、埼玉県、埼玉県福祉のまちづくり推進協議会、熊谷スポーツ文化公園管理事務所 等 約40名

(4) 内容

ア 障がい当事者の講話 NPO法人自立生活センター遊Toピア 高橋さん

イ バリアフリー調査 車いす、タブレット端末等を使用したルート調査

ウ 意見交換 参加者による気づきの共有

3 今後の予定

(1) 紙マップの作成

オリパラ等経済界協議会において、全国統一のフォーマットで紙マップを作成

- ・ 2月～5月 情報収集(追加調査)
- ・ 5月～7月 デザイン、印刷
- ・ 8月～10月 配布(空港、主要駅、利用駅(熊谷駅等))

(2) 電子マップの情報

収集した情報をオープンデータ化し、WEB上で公開